

**フジパングループPresents 2022ロバパンCUP
第54回全道U-12サッカー大会オホーツク地区予選大会
開催要項**

名称

フジパングループPresents 2022ロバパンCUP 第53回全道U-12サッカー大会オホーツク地区予選

主催

オホーツク地区サッカー協会第4種委員会

主管

北見サッカー協会

開催日

2022年7月2日(土)～7月3日(日)

※「COVID-19(いわゆる新型コロナウイルス)」の感染拡大による情勢変化があった場合や天候等により日程変更が生じる場合もある。

会場

モイスポーツワールド(北見市美園369-1)

組合せ

- (1) 第4種委員長立会いの下、事務局で厳正に抽選し結果を参加チームへ通知する。

参加資格

- (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームである
- (2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録の選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
- (3) 第4種年代の女子選手については(クラブ申請を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
- (4) 外国籍選手は1チームあたり3人までとする。
- (5) 選手・役員及び帯同審判員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (6) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、内1人以上が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (7) 「参加選手」は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
- (8) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。
- (9) 「参加チーム」は必ず、大会1日目終了後に行われる「U-12リーグ参加指導者研修会」に、チーム指導者1人以上を参加させること。

※「COVID-19(いわゆる新型コロナウイルス)」の感染拡大による情勢変化があった場合や天候等により実施方法に変更が生じる場合もある。

大会形式

- (1) ノックアウト方式(3位決定戦を行う)

- (2) 大会1日目は準々決勝(ベスト8)進出チームまでを決することとする。
- (3) 大会2日目は、準決勝以降(3位決定戦を含む)同点の場合は前・後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない時はペナルティーキック方式で勝者となるチームを決定する。
- (4) 大会2日目は決勝トーナメントの他に、決勝トーナメントに出場しないチーム同士によるフレンドリーマッチを行う(審判は必ず審判服を着用のこと)。

競技規則

(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2022/2023」及び「8人制サッカー競技規則」による。

競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、天然芝または人工芝とする。
サイズは以下のとおりとする。
フィールドの大きさ:長さ(タッチライン)68m×幅(ゴールライン)50m
ペナルティーエリア:12m
ペナルティーマーク:8m
ペナルティーアークの半径:7m
ゴールエリア:4m
センターサークルの半径:7m

(2) ボール

試合球は少年用4号球を使用(地区協会で用意)する。

(3) 競技者の数

競技者の数:8人(競技者のうち1名はゴールキーパーとする。)
交代要員の数:8人以内を基本とする。
交代を行うことができる人数:制限なし(交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。)

(4) ベンチ入りするチーム役員の数:4人以下。なお、1人以上が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。

(5) 審判員

1人の主審と2人の副審及び1人の予備審判が指名される。

(6) テクニカルエリア

設置する。テクニカルエリアにいる監督または指導者が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した時は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。

(7) 競技者の用具・ユニフォーム・シューズ

- ① 本協議会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない(2着以上の持参が好ましい)。
- ② ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本協議会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブスも可)。
- ③ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色
- ④ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したとき
- ⑤ ソックスにテープまたはその他の材質のものを張り付ける、または外部に着用する場合、ソックス
- ⑥ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑦ アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用
- ⑧ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- ⑨ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑩ すね当ての着用を義務付ける。
- ⑪ スパイクシューズは危険を避けるため、取替えポイントでないものとする。

(8) 試合形式

- ① 試合時間:30分(前・後半15分)
- ② ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで):原則5分間

- ③試合の勝利チームを決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)
- ・1回戦～準々決勝:ペナルティーキック方式により勝者を決定する。
 - ・準決勝以降(3位決定戦を含む):10分(前・後半5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。
 - ・延長戦に入る前のインターバル:原則3分間
 - ・ペナルティーキック方式に入る前のインターバル:原則1分間
- ④アディショナルタイムの表示:行う
- (9) 交代の手続き
- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 - ④交代は、主審、副審、補助審判の承認を得る必要はない。
 - ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができ
※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (10) 負傷者の対応
主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- (11) 飲水タイム
暑熱下において、前後半中ほどに飲水タイムを採用する。飲水タイムの適用は、各試合前に大会本部が決定し、全てのピッチで適用する。飲水タイムは60秒を超えてはならない。その他の対応については、JFAより通達されている「熱中症対策ガイドライン」によるものとする。
- (12) クーリングブ레이크
暑熱下において、WBGT値が28℃(摂氏31℃)以上となった場合、クーリングブ레이크を採用する。クーリングブ레이크の適用は、前半開始前及びハーフタイム中に大会本部が決定し、全てのピッチで適用する。クーリングブ레이크は90秒以上180秒以内とする。その他の対応については、JFAより通達されている「熱中症対策ガイドライン」によるものとする。
- (13) 登録選手証
出場チームは(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の確認ができるものであること。
※「選手証」とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、
またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- (14) 選手証の確認
チームごとに、会場到着後、本部にて実施。

懲罰

- (1) 本大会規律委員会の委員長は第4種委員長が務め、委員は副委員長・事務局長・審判委員
- (2) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
- (3) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の措置については大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (4) (公財)日本サッカー協会規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

表彰

- (1) 優勝チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (2) 準優勝チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (3) 第3位及び第4位のチームには、表彰状と盾を授与する。
- (4) 本大会の上位3チームは、全道大会への出場を義務付ける。
※2022年7月29日(金)～31日(日) オホーツク 地区開催

代表者・審判員会議

2022年7月2日(土) 午前8時15分～

開会式・閉会式

- (1) 開会式は実施しない。
- (2) 閉会式:2022年7月3日(日) 午後4時00分～(予定)
※成績上位4チームは必ず出席すること。

大会開始

2022年7月2日(土) 午前9時30分～

帯同審判

出場チームは大会期間中、以下のとおり(公財)日本サッカー協会公認審判員を必ず帯同させること

- (1) 2日間共に、3級以上1人、4級以上1人の計1人以上
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたる。
- (3) 審判員を帯同できない場合は、不帯同料として1日につき1人当たり5,000円を参加料と同時に納入すること。

参加料

大会参加料 8,000円 大会当日受付時に納めること。

参加申込

- (1) 参加チームは所定の様式をEメールで大会事務局まで申し込むこと。
- (2) 参加申込
 - ①1次申込:2022年6月 8日(水) 午後7時まで(大会参加の有・無)
 - ②2次申込:2021年6月15日(水) 午後7時まで(メンバー表の提出)
- (3) 1団体からの複数チームの登録は認める。ただし、それぞれのチームに有資格者・帯同審判員がいて責任をもって大会運営に協力できること。
- (4) 大会不参加のチームは、期日までにその旨を大会事務局に報告すること。
【申込先】 オホーツク地区サッカー協会
第4種委員会 大会事務局
担当 松岡 史博(北見リトルウィングスSFTサッカー少年団)

その他

- (1) メンバー用紙については、各チームにおいて事務局から送付された自チームのメンバー用紙3枚1組を1部として試合数分の部数を印刷し、試合開始15分前迄に1部提出すること。
- (2) 各チームともスポーツ傷害保険に加入すること。
- (3) ゴミ等は、各チームで責任をもって持ち帰ること。
- (4) 路上駐車及び駐車場の通路への駐車は厳禁とする。
- (5) 駐車場の空きスペースへ場所取りのための椅子等を置く行為を発見した場合は、4種委員会
- (6) 参加選手の持物については氏名とチーム名を記入し、忘れ物がないように周知・徹底すること
- (7) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、本大会事務局において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (8) 試合中、当該チーム以外のピッチ内の使用は認めない。
- (9) 試合前後の空き時間を利用したピッチ内の使用は認めない。ただし、キックオフまでの時間に余裕があり、当該試合の審判団がピッチの使用を認めた場合は、この限りではない。
- (10) 「受動喫煙防止法」により、特に喫煙場所が指定されていない場所での喫煙は原則認めない。

- (1) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者^{とミーティングを実施する}
- (2) 各チームの会場入りは、試合開始前1時間30分からとする。
例) 11時kickoffの場合、会場入りは9時30分から。